

# 母性看護学実習

単位数（時間数）：2 単位（90 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：通年

科目責任者（職位・氏名）：教授・橋本美幸

科目担当者（職位・氏名）：教授・江守陽子 助手・田中友香

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：73

## ■ 授業概要

看護の実践の場において、これまでに教授した母性看護の理論、知識、技術を用いた実践を臨床の場で活用できるようにする。具体的には、受け持ちケースまたはかかわった妊婦、産婦、褥婦、新生児を通して、周産期にある女性及び新生児の特性をより理解させるとともに、母子及び家族の健康保持・増進、予防、回復のための看護の方法を教授する。

## ■ 到達目標

1. 周産期にある女性および新生児の特性を理解できる。
2. 受け持ちケースを通して、対象に必要な看護が展開できる。
3. 周産期にある対象者に対して、適切な看護技術を用いて援助できる。
4. 母子および家族関係を確立するために必要な支援が理解できる。
5. 母子保健に関する制度・社会資源・地域活動を理解できる。
6. 子育て中の母親のニーズを知り、継続的な支援を考えることができる。
7. 母性看護における倫理的課題に気付き、看護師としての態度を考えることができる。

## ■ 教育内容

母性看護学

## ■ キーワード

周産期看護、ウェルネス看護の視点、セルフケア、子育て支援

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

授業項目	授業内容・授業方法	担当
<p>2025 年 6 月 9 日～8 月 1 日 11 月 17 日～12 月 19 日 2026 年 1 月 13 日～2 月 6 日</p>	<p>&lt;実習方法&gt; 原則として 2 週間の実習のうち、産科医療施設と育児期の母子支援施設および母性小児実習室においてそれぞれ実習する</p> <p>&lt;実習施設&gt; 岩手県立中央病院 産科病棟・分娩室・産科外来 岩手県立中部病院 産科病棟・分娩室・産科外来 アイーナ子育てサポートセンター アイーナ 6 階 もりおか子育て応援プラザ（マ・モール）第 8 大通ビル 3 階</p> <p>実習方法の詳細については「母性看護学実習 実習要項」および実習前ガイダンスで説明する</p>	<p>橋本 江守 田中</p>

## ■ 履修条件

療養援助実習、母性看護学概論、母性看護援助論、母性看護技術論の単位修得済みであること。

## ■ 成績評価方法

- ・実習態度 60 点、実習記録物 30 点、レポート 10 点を総合評価し、最終評価 60 点以上を合格とする。
- ・出席は 4/5 以上の出席であること。

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

実習初日に既習の学習レベル、母性看護学に関連する看護技術をチェックする。また、実習中は毎日カンファレンスを持ち、その日の実習状況についてフィードバックする。実習レポートは全て点検したのち、コメントを付けて返却するので、各自振り返り、学修を深めること。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
  - 母性看護学 ① 概論・リプロダクティブヘルスと看護
  - 母性看護学 ② 母性看護の実践
  - 母性看護学 ③ 母性看護技術

## ■ 参考書・参考資料等

- ・母性看護援助論および母性看護技術論で提示した参考書・参考資料等の全て
- ・その他の参考図書は随時紹介する

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業前後の学習は授業にて指示する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

他施設を利用しての実際の母子に対する看護実践です。

やり直しがきかないことを強く自覚し、これまで学んだ知識・技術を復習・整理し、確実に身に着けたうえで臨んでください。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

各担当教員にて提示します。

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

担当教員は産院・総合病院、産婦人科クリニック、小児科 NICU での助産師および看護師業務経験を有しています。また、看護系大学の母性看護学領域の教員として、医療・福祉施設、助産所、自治体の母子保健担当部署における実習指導を行なっております。

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

各施設の実習指導担当者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

担当教員は臨床助産師および看護師として得た経験と、看護系大学の教員として培った経験を活かし、実践的な実習指導を行なっております。

また、各施設の実習指導担当者は、対象者の個別の状況や現場を熟知している強みを活かし、実習指導を行います。